

令和 8 年度研究推進計画

学校名 東広島市立豊栄小学校

校長名 増上 正美

1 研究主題等について

①研究主題

郷土に学び、郷土への誇りと愛着をもつ児童の育成
～生活科・総合的な学習の時間における探究活動の充実を通して～

②主題設定の理由

本校では、令和 6 年度より 2 年間にわたって、生活科・総合的な学習の時間の研究を行い、本校で目指す資質・能力（自ら伸びる力・コミュニケーション力・実行力）の向上を目指して、地域に根ざした探究を進めてきた。その過程で、児童にとって必要感のある課題や魅力的な体験活動を設定することで児童の主体性を高められること、児童が学びの足跡を蓄積し、自己の考えを他者と共に広げたり深めたりすることで探究の質を高められることが明らかとなった。

本校の置かれる豊栄町は、絶滅危惧種のオオサンショウウオが生息する豊かな自然環境をもち、そうした環境を生かした様々な農業や酪農が営まれている地域である。一方で、都市部から離れた中山間地域に位置していることで、少子高齢化や過疎化といった地域課題を有している実態がある。このような背景もあり、昨年度までは高学年児童を中心として、学習成果を地域だけでなく外部へ向けて発信することで PR に繋げ、豊栄町に興味をもつ人々を増やすことを目標にして探究を進めてきた。しかし、地域の未来を描いていくうえで、そうした外部へ向けた発信に重点を置くばかりでなく、まずは、ここ豊栄で育った子供たちが、自分たちのふるさとへの誇りと愛着をもつこと、そして、ふるさとの魅力を自分の言葉で語るができるようになることが何より大切ではないかと考えた。

そこで、今年度より、これまで行ってきた探究活動の更なる充実を図る一環として、「とよさか検定」プロジェクトを発足する。このプロジェクトは、学習発表会や実践発表会において探究の成果を地域に向け発信していく中で、地域の方から、「児童の学習成果を、地域の知的財産として形あるものに残せないだろうか。」という声をいただき、学校と地域とが一体となって進める取組として発案したものである。具体的なイメージとしては、学習を通して得られた知識を分類・体系化し、初級・中級・上級のようにレベル分けした検定問題を設定していく。初級では比較的基礎となるものを、中級では豊栄の風土や歴史にちなんだ視点のものを、そして上級では、答えが一つとは限らない、本質的な問いとなるものを、それぞれ問題として設定していく。こうした検定作りの取組を進めていくことが、児童が学んできたことの本質を考えることに繋がり、結果的に、探究の質の向上と、郷土への誇りと愛着の醸成に繋がっていると考える。本研究主題設定の理由である。

③研究仮説

「とよさか検定」プロジェクトの推進を通して生活科・総合的な学習の時間における探究活動の充実を図り、学んだ知識の分類・体系化や本質的な問いの設定及び、何度も問い直し答えを更新し続けることを行っていけば、郷土に学び、郷土への誇りと愛着をもつ児童を育成することができるであろう。

④研究内容

本校の目指す資質・能力に基づく、生活科・総合的な学習の時間における探究的な単元開発と実践

⑤検証の方法及び指標

A 単元前後における児童アンケート結果の比較

- ・「授業では、自分で調べることややりたいことを見付けながら、見通しをもって学習を進めることができますか。」→肯定的回答割合 90%以上を目指す。
- ・「学習した内容について分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげていますか。」→肯定的回答割合 90%以上を目指す。

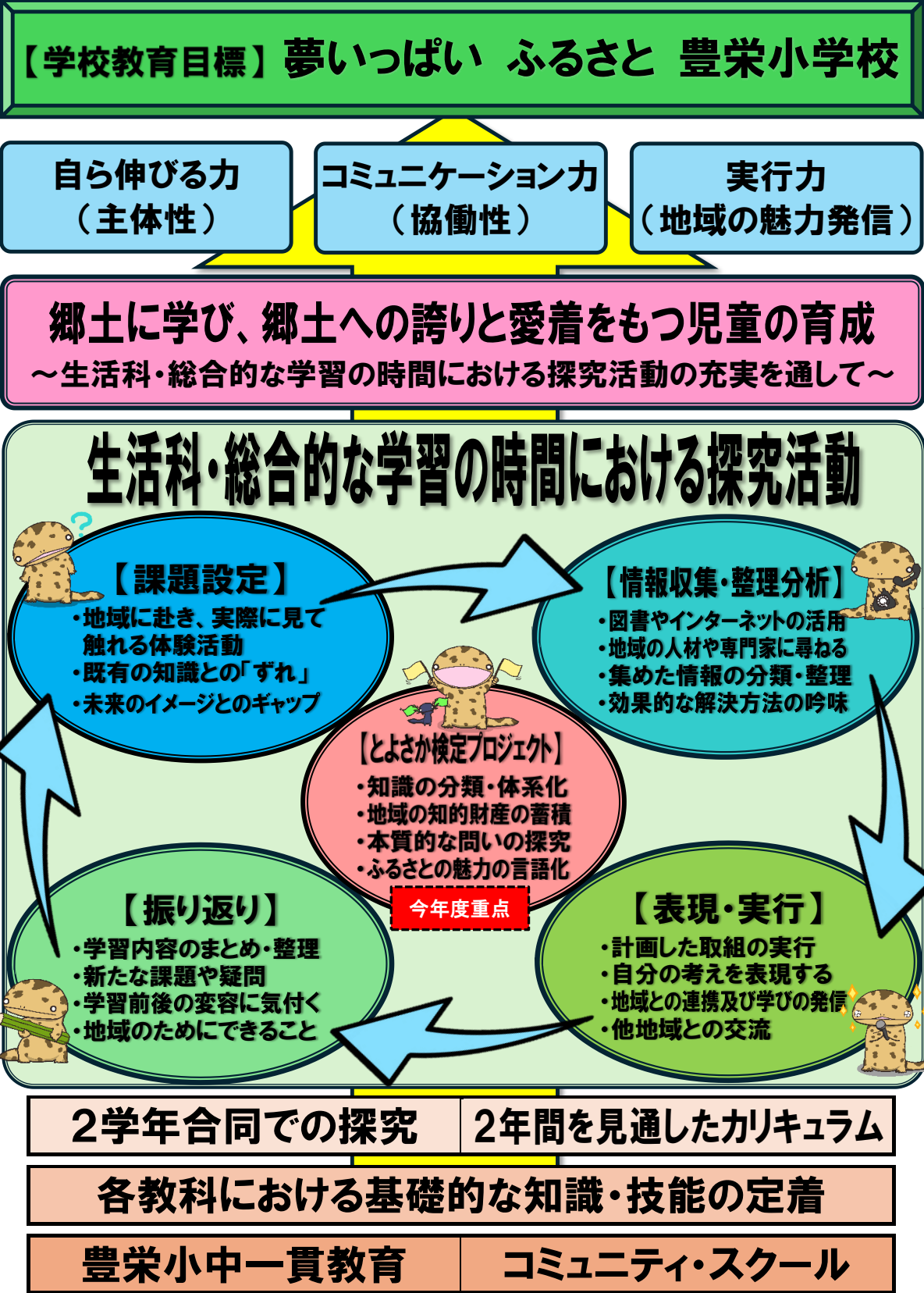
B 単元前後における児童の振り返りの質的変化の見取り

- ・地域を誇りに思う気持ちや愛着の高まりが感じられる内容となっているか。
- ・本質的な問いに対する考えを表現し、内容の深まりが表れているか。

2 検証計画

- A 単元前後における児童アンケート結果の比較
 - ・ 4月（単元開始前）、7月（単元中間）、11月（単元終盤）に児童アンケートを実施し、その数値の変化で検証する。
- B 単元前後における児童の振り返りの質的变化の見取り
 - ・ 4月（単元開始前）、7月（単元中間）、11月（単元終盤）の振り返りの記述を見取る。その際、抽出児童を各学年から数名定め、単元を通して質的变化を見取っていくようにする。

令和8年度 東広島市立豊栄小学校 研究構想図



3 校内研修計画

《4月》

- ・昨年度の取組の成果と課題についての共有
- ・今年度の研究計画について
- ・ペア学年による単元計画の立案、単元の導入についての検討
- ・単元開始時の第1回児童アンケート実施について

《5月》

- ・今年度の生活科・総合的な学習の時間の学習指導案の形式について
- ・振り返りの手法について
- ・今年度の提案授業のスケジュール決定

《6月～7月》

- ・提案授業①の学習指導案検討
- ・提案授業①
- ・単元中間の第2回児童アンケート実施について
- ・前期前半の取組の振り返りと交流

《8月》

- ・前期後半以降の学習指導案作成

《9月～10月》

- ・提案授業②の学習指導案検討
- ・提案授業②
- ・提案授業③の学習指導案検討
- ・提案授業③

《11月》

- ・単元終盤の第3回児童アンケート実施について
- ・研究の成果と課題のまとめについて

《12月～1月》

- ・今年度の研究の成果物作成

《2月～3月》

- ・今年度の研究の成果と課題の共有
- ・来年度の研究の方向性について検討
- ・来年度に向けた生活科・総合的な学習の時間のシラバスの加筆・修正